

# 薬連ハイライト

## 「薬剤師首長・地方議員意見交換会」開催される

5月14日（木）東京大手町にて令和8年度薬剤師首長・地方議員意見交換会が開催され、全国から33名の薬剤師首長・地方議員が参集した。

澤井常任総務の司会のもと、冒頭、岩月会長より「昨年度は薬剤師国会議員が4名となり、また全国では地方行政に関わる方も新たに誕生し、希望を持って今年度を迎えられた。さまざまな課題を抱えているが、地方からもお力添えをいただき、薬剤師が地域住民に感謝され国民に役立つ職業であることを示していきたい」と挨拶があった。続いて本田顕子参議院議員、神谷政幸参議院議員からの祝電が披露され、ご来場いただいたとかしきなおみ衆議院議員、藤田洋司衆議院議員よりご挨拶いただいた。

次に「日本薬剤師連盟の現状報告」として、岩月会長より（1）日本薬剤師連盟役員について、川田幹事長より（2）薬剤師地方議員の現状、9月の沖縄県知事選挙への古謝玄太氏立候補の件などについて報告があった。続いて原口副会長より（3）直近の政治課題につ

て、川田幹事長より（4）次期参議院議員通常選挙について報告がされた後、首長・地方議員の皆様から日々の活動、現場の課題や成功事例、日本薬剤師連盟へのご意見やご要望をお話いただいた。

会議終了後の意見交換会では、それぞれ活発に交流され大変有意義で貴重な機会となった。



## オレンジ日記

### 8年目の始まりにあたり ～これまでの感謝とともに～

参議院議員・薬剤師  
本田 顕子



令和元年7月21日、全国の皆様から159,596のご支援をいただいていたから7年の月日を重ねてまいりました。

岩月進 日本薬剤師連盟会長が発起人代表に、そして製薬産業政治連盟 安川健司会長、日本薬業政治連盟 鹿目広行会長、本田あきこ後援会「顕政会」上野景昭会長に発起人にご就任いただき、5月27日に都内で「本田あきこを育てる会」を開催していただきました。

ご来賓の自由民主党 薬剤師問題議員懇談会 世話人の加藤勝信議員と福岡資麿議員、薬剤師議員の先輩、とかしきなおみ議員と藤根基之先生からご挨拶をいただき、高市早苗自民党総裁から届いたメッセージを司会の神谷政幸議員と藤田洋司議員に紹介していただきました。

薬剤師会・薬剤師連盟や製薬・機器業界の皆様をはじめ、会場の収容規模を超える数多くの方々に、私は御礼の気持ちを込めて、革新的新薬や先端技術、ジェネリック医薬品、健康を支える医薬品や健康機器などを全国津々浦々必要となる場所に届ける強靱な供給体制を整え、国民のいのちと暮らしを守る事が「私の2期目の役割」であることの決意を述べました。

「育てる会」を通じて、8年目のスタートに弾みをつけていただきましたので、社会保障制度の充実と強い経済の実現を両輪として、地域の医療・介護などを支える関係各位を取り巻く課題の1つ1つについて、今後の議員活動を通じた政策の実現をもって御礼に代えることができるよう、頑張っています。

## 政幸だより

### 第8回日独高齢化シンポジウム に出席して

参議院議員・薬剤師  
神谷 政幸



私は、厚生労働大臣政務官として本年5月2日から6日の間にドイツ連邦共和国（以下、独）に出張して参りました。主な目的は日独高齢化シンポジウムに参加することでした。

シンポジウムでは「健康増進と予防による要介護化の防止」をメインテーマに、『予防と介護の法的基盤』『予防と介護に関する研究』『日本と独の介護保険制度の今後の改革』のセッションが設けられていました。独においても高齢化社会は到来しており、日本と同じく高齢者の健康増進や疾病予防を如何に支援し要介護状態の発生を防止または遅らせるのかを協議しました。このように日独が直面している課題には、健康増進、予防、リハビリテーションの効果的な連携を将来どのように有効活用するかであると思いました。

今回訪独中、公務の合間に市中の医療状況も伺いましたが、医療機関の受診までには時間（初診には月単位の待ち時間）を要するため薬局・薬剤師の健康・医療相談が地域医療を支えているものと拝察しました。薬局を取り巻く環境は変化しており、人口減少の地方は影響を受けているようです。日本の将来においても地域の特徴に応じた医薬品提供体制の確立が重要と考えました。

私も会員の皆様のお役に立てるよう薬剤師国会議員として、その環境整備に取り組んで参る所存でございます。